

## 第25回(平成20年度)助成者一覧表

### 1・研究助成

部門	研究者	研究テーマ
工 学	上田尚史 <small>(名古屋大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 助教)</small>	*コンクリート構造工学 *劣化・損傷を生じたコンクリート構造物の構造性能評価手法の開発と適用
	西田政弘 <small>(名古屋大学大学院 工学研究科 准教授)</small>	*機械工学(衝撃工学) *超高速衝撃によるクレーター形成のメカニズム解明に関する基礎的研究
	矢野良和 <small>(愛知工業大学 工学部 電気工学科 講師)</small>	*電子工学、情報工学 *撮像状況変化による影響を追加学習する車両認識システムの開発と応用
	中井孝幸 <small>(愛知工業大学 工学部 都市環境学科 准教授)</small>	*建築計画 *既存施設の転用による図書館計画における開架エリアの計画手法に関する研究
医 学	尾崎紀之 <small>(名古屋大学大学院医学系研究科 准教授)</small>	*神経科学 *機能性胃腸症における胃の痛覚過敏のメカニズムの解析
	向井知之 <small>(愛知医科大学 リウマチ科 助教)</small>	*骨免疫学、リウマチ学 *ヒト間葉系幹細胞からの骨芽細胞分化に及ぼす炎症性サイトカイン作用の検討
法 学 ・ 経 済	清水克俊 <small>(名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授)</small>	*金融論 *地域金融機関の貸出行動と地域における中小企業の破たんの関係について
	上野正樹 <small>(南山大学 経営学部 准教授)</small>	*製品開発論、経営戦略論 *感性価値創造の製品開発
	佃 貴弘 <small>(名古屋大学大学院 法学研究科 研究員)</small>	*英米法、法学教育、法曹論、法情報学 *アメリカ法律協会・第三次リステイトメントを素材とする信認関係の研究 ー本人、代理人および依頼人・弁護士の関係からみられる発想に基づいて
	北尾泰幸 <small>(愛知大学 法学部 助教)</small>	*理論言語学(統語論、生成文法理論) *英語・日本語関係節の派生メカニズムおよびその違いをもたらす統語的要因の分析
芸 術	大崎宣之 <small>(愛知県立芸術大学 美術学部 油画専攻 講師)</small>	*絵画/版画・現代美術 *ハイビジョン映像を用いた美術表現の意味と可能性の研究
計	11名	



部門	研究者	研究テーマ・等
医学	山本英子 (名古屋大学医学部附属病院産婦人科 助教)	*産婦人科科学 *ベトナムにおける絨毛癌根絶のための胞状奇胎患者の管理と登録システムの普及
	梅本幸裕 (名古屋市立大学大学院 医学部 腎・泌尿器科学分野 病院講師)	*精子受精能に係わる責任遺伝子の探索 *スペインで開催される第9回世界アンドロロジー学会に参加し研究成果の発表および評価の確認等、情報の収集をし今後の研究に役立て、つなげる
	ガンツェツェグ ツムルク (愛知医科大学 助教)	* $\alpha$ ガラクトシルセラミド感作による致死的エンドトキシンショックにおける急性肺傷害の発生メカニズム *米国で開催される41 <sup>th</sup> Annual Meeting of the Society for Leukocyte Biologyに参加し研究成果を発表する
	太田充彦 (藤田保健衛生大学 医学部 公衆衛生学 講座 講師)	*職業性心理的ストレスが喫煙維持と禁煙に与える影響 *バンコクで開催されるSRNT Bangkok 2008に参加し、仕事に関連する心理的ストレス(職業性心理的ストレス)が喫煙習慣の維持や禁煙に与える影響についての追跡研究の発表を行なうとともに、最新のたばこ対策に関する知見を収集する
法学・経済	傘谷祐之 (名古屋大学大学院 法学研究科 博士後期課程)	*近現代カボツア司法組織史 *カボツア王国プノンペン市 王立法律経済大学、司法省、国立文書館等において植民地時代・シムック時代の司法組織改革に関する資料および最新の資料収集をし司法組織改革の目的や問題点と現代の司法組織への影響を明らかにする
	岡田悦典 (南山大学 法学部 准教授)	*刑事訴訟における準備手続についての研究 *アメリカ法社会学会2009年大会に参加し、刑事訴訟の準備手続に関する日英米の3ヶ国比較及び歴史研究と日本の裁判員制度導入に伴う準備手続のあり方に関する研究の報告及び司法制度、特に陪審裁判研究に関する最新の研究の調査
	園田 正 (名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授)	*農家行動の実証法の改善とその中国農村部個票データへの応用 *米国 ノースカロライナ州立大学 農業資源経済学部において研究の報告および意見交換を行なう
	古川邦之 (愛知大学 経営学部 助教)	*カルデラ形成を伴う大規模噴火に至る火山活動の解明 *スペイン カナリア諸島にて行なわれる国際会議に参加し大規模噴火発生直前の火山活動に関する研究報告を行ない今後の火山学の方向を導く
芸術	原田綾子 (愛知県立芸術大学 音楽学部器楽科 管打楽器コース 講師)	*クラリネット奏者として現代音楽といかに向き合うか ～作品発掘からその解釈・演奏理論についての研究～ *ヨーロッパで活躍する現代作曲家の作品の中で、特にクラリネットを中心とする室内楽作品を発掘すること、また現代音楽専門のドイツのアンサンブル公演リハーサルを視察し、今後の指導への取り入れ方について研究する
計	23名	